



＼痔かもしれないとお悩みのあなたへ／

人に聞けない痔のはなし

1、人に聞けない肛門のはなし

歯状線

肛門の入り口から約2cm奥にあり、直腸（粘膜）と肛門（皮ふ）が合流する境界線です。

歯状線には肛門陰窩と言う小さなくぼみがあり、その奥に肛門腺があります。くぼみに便が入り込み、肛門腺が細菌に感染すると化膿し、肛門周囲膿瘍になりやがて痔瘻（あな痔）へと進行します。

静脈叢＝痔核（いぼ痔になる部分）

毛細血管が網の目のようにたくさん集まっている部分で、内痔静脈叢と外痔静脈叢があります。弾力性があり、肛門を閉じるクッションのような働きで排便時の衝撃を和らげてくれています。ここがうっ血して腫れたものがいぼ痔です。

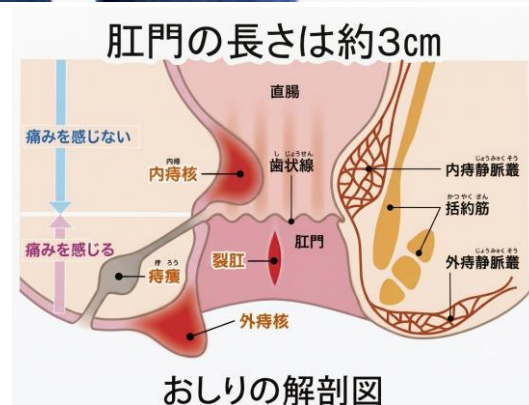
2層の括約筋

○内肛門括約筋（不随意筋＝自分の意思で動かせない筋肉で24時間無意識に肛門を締めている筋肉）

○外肛門括約筋（随意筋＝自分の意思で動かせる筋肉で便意を感じた時に我慢したり、排便時に意識して緩めたりする筋肉）

人に聞けない中医古典の豆知識

中医学の古典「黄帝内経」には、飽食（食べ過ぎ）すると腸澼（脂っぽい粘液の増加）が生じ、痔となると記されています。すなわち、痔の根本原因は湿熱・瘀血と考えられます。これらは暴飲暴食・運動不足・座りっぱなし・ストレス・アルコール・たばこ・過労・睡眠不足・冷えによって作られる体質です。



おしりの解剖図



100mL ¥880 (税込)
500mL ¥2,860 (税込) 150錠 ¥6,930 (税込)



360錠 ¥4,950 (税込)

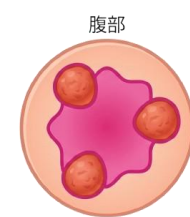
2、人に聞けない痔の種類のはなし

痔核（いぼ痔）

静脈叢が血流悪化によりうっ血していぼ状に膨らんだ状態です。痔核は、直腸と肛門の境界線である歯状線より上の直腸部分にできる内痔核と下の肛門部分にできる外痔核に分けられます。痔核の割合は8～9割が内痔核、1～2割が外痔核です。

内痔核

粘膜部分にできるため、排便時に出血はあるが、痛みは少ないです。進行すると肛門外に脱出します。内痔核は、脱出の程度など自覚症状に基づいてⅠ度～Ⅳ度に分類されます。



内痔核のできる位置は、3時・7時・11時の位置に多く現れます

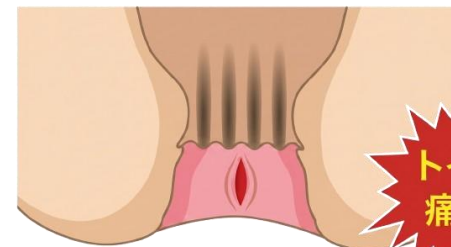


外痔核

皮ふ部分にできるため、神経が通っており、強い痛みを伴います。座ったり歩いたりすると痛みやすいです。血栓性外痔核は急激に血の塊（血栓）ができ、大きく腫れると激痛が走ることがあります。

きれ痔（裂肛）

排便時に硬い便が通ることや激しい下痢によって、肛門の出口付近の皮ふが裂けたり、切れたりした状態。一言で言えば「おしりの切り傷」です。知覚神経が通っている歯状線より下の肛門部分の皮ふが切れるため、排便時におしりをナイフで切られるような鋭い痛みを感じます。出血は少量でトイレットペーパーに線がつく程度です。



トイレで痛い！

肛門は心臓より下にあり、うっ血しやすいので痔のリスクが高まります

痔は二足歩行に進化した人類の宿命
血液の流れが悪くなり、下で滞ってしまう(うっ血)



薬剤師

国際中医専門員 石井雅代

不妊・不育・更年期などの女性のお悩み、小児の発育や発達、自律神経やストレスによる不調、アトピー・ニキビなど皮膚トラブル



オリーブ健康館では、一緒に解決の糸口をみつけるお手伝いをしています。事前予約していただくと、十分な時間を作れますので、まずは気軽にご連絡ください。

←薬膳の詳細はこちら

